

14. 骨格文・結果文シート

①「12. 用語組込シート」の最終段階の文セットのうち、最も重要だと感じられる語（概念）が主語となっているものを選び、骨格文とする。「13. 入替シート、比喻シート」をおこなった場合は、修正を反映する。

骨格文を書き写す。

②骨格文の概念システム（「概念」と概念間の関係）を保ち、テーマに応じた具体性を加味した文を書き、結果文とする。骨格文に具体性がある場合には省略してもよい。

結果文を書く。

③結果文（作成しなかった場合は骨格文）を、意味のまとまりごとに分割する。分割部分ごとに、文になるように表現を整える。この文を「結果パターン」と呼ぶ。「結果パターン」を簡条書きにし、整理番号を付けておく。

(No.)